

授業科目	宿泊産業論					単位	2		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO31110J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-3 DP1-4 DP2-1 DP2-2 DP4-1 DP4-2				
担当教員	松笠 裕之								
授業概要	実務家教員として宿泊産業のホテル企業勤務の経験を基にホテル・旅館に関する理論と実務の両方を学びます。東京オリンピック・パラリンピック(2021 年に延期)並びに 2025 年の大阪万国博覧会に向けて全世界の注目が日本に向けられる中で、「観光立国」を目指すうえで重要な位置を占める宿泊産業について学びます。国際観光の振興においてインバウンドの受け皿となるホテルや旅館など宿泊産業がその国の観光産業発展の鍵となるといっても過言ではありません。この講義では、ホテルや旅館などの宿泊産業の定義に始まり、社会学の視点から存在意義や社会的役割について学びます。次に歴史の観点から宿泊産業の成立過程と発展過程について学習し、現代の宿泊産業の現状と将来の課題について考察します。もう一方で経営学の視点からホテルの運営並びにマネジメントについて学習します。								
学生が達成すべき行動目標	1.宿泊産業とはどのような産業かが理解できる。 2.宿泊産業の意義と存在価値について理解できる。 3.宿泊産業の成立過程と発展過程が理解できる。 4.ホテル経営(マネジメント)の理論についてが説明できる。 5.ホテル経営(マネジメント)の実務について理解できる。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	45	25	0	0	30	0	100	その他は出席状況、及びレポート外の提出物はリアクションペーパーにおける講義の要点、学習した点、質問事項並びに感想の内容	
知識・理解 (DP1-1)		10					10		
知識・理解 (DP1-2)									
知識・理解 (DP1-3)		10					10		
知識・理解 (DP1-4)		5					5		
思考・判断 (DP2-1)	20						20		
思考・判断 (DP2-2)	25						25		
関心・意欲 (DP3-1)									
関心・意欲 (DP3-2)									
態度(DP4-1)						20	20		
態度(DP4-2)						10	10		
態度 (DP4-3)									

技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル			標準的なレベル					
宿泊産業の歴史と発展過程を正しく理解し、将来宿泊産業を目指す人にとって即戦力となりうる知識と実務を習得できる。			宿泊産業の中で主要な位置を占めるホテルと旅館の成立過程並びに発展過程を理解し、今後消費者として宿泊産業を利用する際にその知識を有効に活用できる。					
授業計画								
進行	テーマ・講義内容		授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	オリエンテーション 講義の進め方、受講上の注意を説明します。 宿泊産業に関する視聴覚教材を鑑賞し、講義全般の概略を理解します。		講義 視聴覚教材		復習: 該当箇所の復習		100	
2	テーマ: 宿泊産業とはどのような産業かを学習します。 宿泊産業の定義、産業構成、社会的役割について解説します。		講義		復習: 該当部分の復習		100	
3	テーマ: 宿泊産業の種類、分類 宿泊産業を機能、立地、価格、利用形態、資本などに分類して解説します。		講義		復習: 該当部分の復習		100	
4	テーマ: 宿泊産業の歴史(1) 古代から中世ヨーロッパにおけるホテルの誕生と歴史的変遷について学びます。		講義		復習: 該当部分の復習		100	
5	テーマ: 宿泊産業の歴史(2) アメリカにおけるホテルの誕生と歴史的変遷について学びます。		講義		復習: 該当部分の復習		100	
6	テーマ: 宿泊産業の歴史(3) 日本における宿泊施設の誕生と旅館の成立過程について学びます。		講義		復習: 該当部分の復習		100	
7	テーマ: 宿泊産業の歴史(4) 日本におけるホテルの誕生と歴史的変遷について学びます。		講義 中間テスト		復習: 該当部分の復習		100	
8	テーマ: 宿泊産業とライフスタイル 時代とともに変化するライフスタイルの変化と宿泊産業の関連性について解説します。今までの復習をするために中間テストを実施します。		講義		復習: 該当部分の復習		100	
9	テーマ: ホテルマネジメント ホテルの経営について概要を説明します。		講義		復習: 該当部分の復習		100	
10	テーマ: ホテルのオペレーション(1) ホテルがどのように運営されているか、宿泊部門(フロント、予約、ハウスキーピング)の位置づけ、組織、役割、業務内容について解説します。		講義		復習: 該当部分の復習		100	
11	テーマ: : ホテルのオペレーション(2) ホテルがどのように運営されているか、料飲部門(レストラン、宴会、婚礼)の位置づけ、組織、役割、業務内容について解説します。		講義		復習: 該当部分の復習		100	
12	テーマ: : ホテルのオペレーション(3) ホテルがどのように運営されているか、営業部門並びに管理部門の位置づけ、組織、役割、業務内容について解説します。		講義		復習: 該当部分の復習		100	

13	テーマ:ホテルの収益構造(1) ホテルの各部門の収益構造や利益率、ユニフォームシステムについて解説する。	講義	復習:該当部分の復習	100
14	テーマ:ホテルの収益構造(2) サンプルデータを基に客室稼働率、ADR 等を実際に掲載した上でホテルの経営状態の良いホテルとはどう いうホテルか解説します。 その後講義の総括を行います。	講義	復習:該当部分の復習	100
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	今まで利用した宿泊施設の印象や感想などをイメージして講義に望むこと。			
テキスト	指定なし レジュメを配布予定			
参考図書・教材／ データベース・雑誌 等の紹介	「ホテルと旅館の事業展開」徳江順一郎著 創成社 2013 「週刊ホテルレストラン」オータパブリケーション発行			

授 業 以 外 の 学 習 方 法 ・ 受 講 生 へ の メ ッ セ ー ジ	授業以外の学習として、昨今宿泊に関する話題がメディアでも多く取り上げられており、新規のホテル開業やホテルの革新的なサービスなどインターネットやニュースや新聞等で最新の情報に常にアンテナを張って関心を持つようにしてください。宿泊産業への提案や授業内容への質問、コメントなどリアクションシート(出席表)に積極的に記入してください。 今後皆さんが仕事や生活の中で宿泊産業は欠かせない存在であり、さまざまなシーンで利用する機会が多いと思います。実際にホテルや旅館を利用する際にこの講義で学んだことを賢い消費者としてまた、人生を豊かにするステージとして活用して下さい。また、実務家教員としてホテル企業で人事部門の責任者としての経験から就職活動に関する質問、相談にも応じます。
達成度評価に関するコメント	レポートの内容については、講義の中で指示をする。 講義内容に関する質問、意見や皆さんの問題意識などを講義の中で配布するリアクションペーパーを活用して積極的に講義に参加してください。